



藤沢記者クラブ各位

う つ も ち じんじゃほんでん はいでん へいでん しょうろう
「宇都母知神社本殿・拝殿及び幣殿・鐘楼」が
国の登録有形文化財になります

文化庁の文化審議会は、令和8年7月17日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、本市に所在する「宇都母知神社本殿」「宇都母知神社拝殿及び幣殿」「宇都母知神社鐘楼」を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

今回の答申のとおり告示されますと、本市における国登録有形文化財（建造物）は、**21箇所45件**となります。

国登録有形文化財（建造物）へ登録を答申された3件の概要は、次のとおりです。

う つ も ち じんじゃ
宇都母知神社

市内北部の打戻に所在する神社。その創建年代は明らかではありませんが、平安時代中期にあたる927年（延長5年）に施行された法令集である『延喜式』の第九・十（「延喜式神名帳」ともいう）に記載されている式内社です。1923年（大正12年）の関東大震災で当時の社殿が倒壊しましたが、1926年（大正15年）に本殿等を復旧し、本年は再建100周年を迎えます。



宇都母知神社 拝殿南側正面

しきないしゃ
式内社とは

「延喜式神名帳」に記載された神社を式内社といい、古代以来の由緒ある神社を指します。式内社は全国には2861社、相模国には13社あり、そのうち藤沢市域には3社ありますが、所在が確定しているのは宇都母知神社の1社のみです。

宇都母知神社本殿・拝殿及び幣殿・鐘楼

所在地：藤沢市打戻2662他

所有者：宗教法人 宇都母知神社

< 本殿 >

- ・構造形式：木造平屋建、鉄板葺
- ・建築面積：19m²
- ・建築年代：1926年（大正15年）

関東大震災後の復興社殿。桁行三間、
梁間二間の神明造で、コンクリート基壇上に南面して建っています。伊勢神宮の外宮正
殿に倣ったとみられ、復古的で簡明な意匠が特徴です。



本殿北側外観



本殿南側外観

< 拝殿及び幣殿 >

- ・構造形式：木造平屋建、鉄板葺
- ・建築面積：57m²
- ・建築年代：1926年（大正15年）

拝殿は桁行三間、梁間三間の神明造、
幣殿は桁行三間、梁間一間で、本殿南方に南面して建っています。簡明な意匠が古式を
示し、本殿と調和しています。



拝殿内部



拝殿南東側外観

< 鐘楼 >

- ・構造形式：木造平屋建、鉄板葺
- ・建築面積：6.4m²
- ・建築年代：1926年（大正15年）

入母屋造の瓦棒鉄板葺。境内南西の
飛び地に建っており、参道沿いの景観を
構成する風格ある鐘楼です。鐘撞堂とも呼ばれています。



鐘楼内部



鐘楼北西側外観

以上